



ひふみアカデミー

2023年3月9日(木)

次の
ゆたかさの
まんなかへ

レオス・キャピタルワークス株式会社



RHEOS CAPITAL WORKS

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会

1. ひふみ投信マザーファンド運用報告
2. ひふみワールドマザーファンド運用報告
3. ひふみグローバル債券マザーファンド運用報告
4. ひふみらいと・まるごとひふみ運用報告
5. ひふみのQ&A夜会

来月からアカデミーの開始時間が変わります

変更 時間が変わります。

~~20:00～21:00開催~~

19:00～20:15

当社セミナールームから配信

新メンバーご挨拶 債券戦略部



高島 幹夫

Takabatake Mikio

外資系生命保険会社および国内資産運用会社にて、国内外の社債・貸付のクレジット分析業務と社債ファンド運用業務に従事したのち、2023年2月レオス・キャピタルワークス入社。日本証券アナリスト協会認定アナリスト(CMA)、CFA協会認定証券アナリスト。

今月のナビゲーター



本間 雄揮
Homma Yuki

本日のトークテーマ

1. ひふみ : どうなる日銀の金融政策／東証再編による投資機会

2. ワールド : ポートフォリオの集約化／「穴」埋め

3. 債券 : 日本国債市場の今後／力強い米経済



ひふみ投信マザーファンド 運用報告

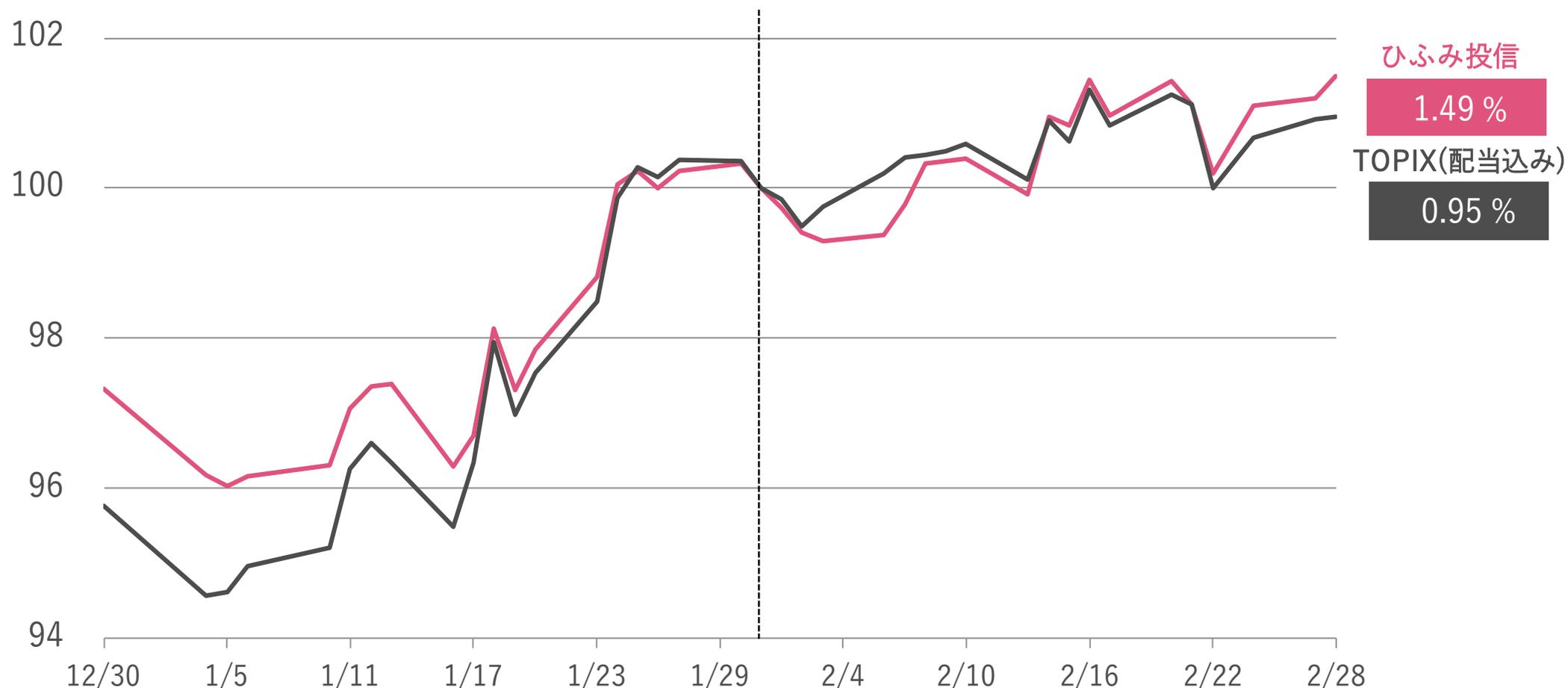
本日のトークテーマ

1. ひふみ : どうなる日銀の金融政策／東証再編による投資機会

2. ワールド : ポートフォリオの集約化／「穴」埋め

3. 債券 : 日本国債市場の今後／力強い米経済

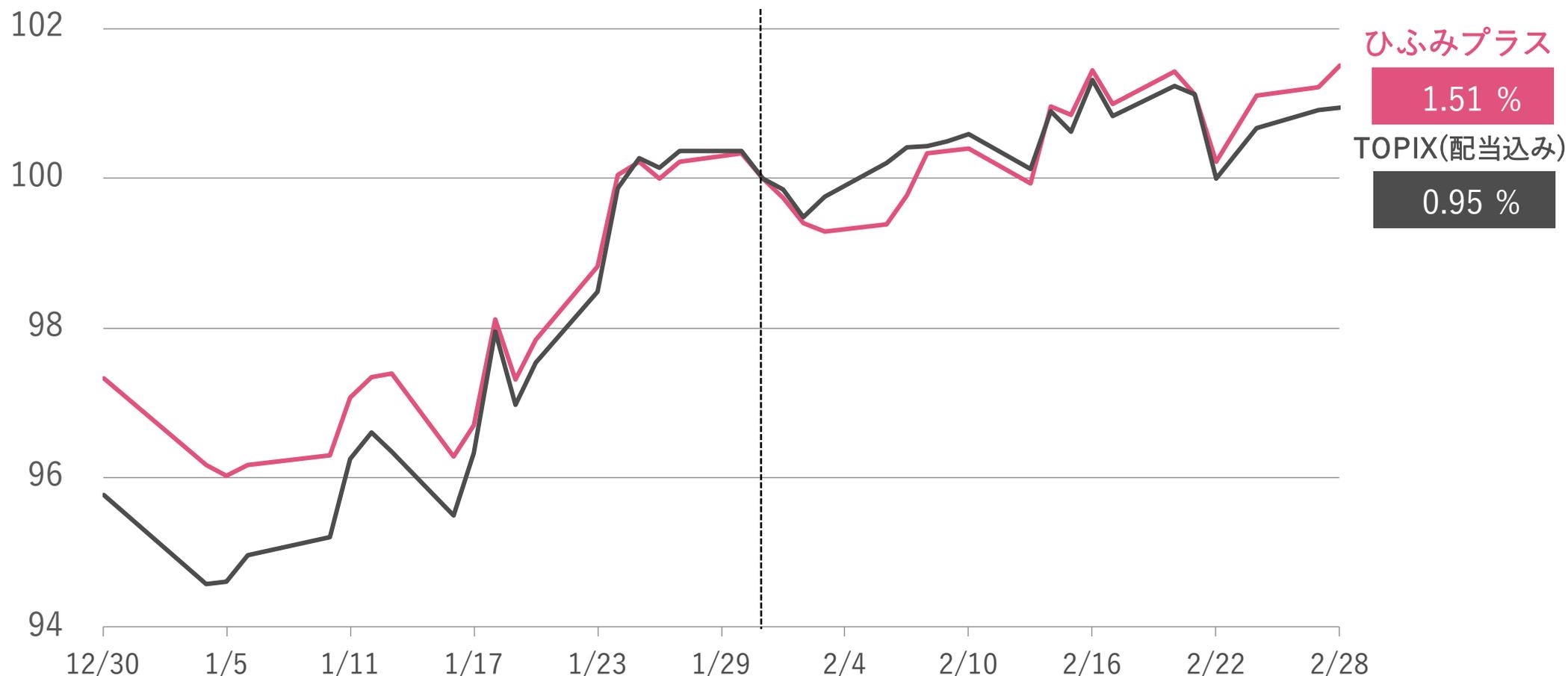
ひふみ投信とTOPIX（配当込み）の騰落率比較



期間：2022年12月末～2023年2月末、2023年1月末を100として指数化 出所：Bloomberg掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークスが作成
TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。

※TOPIXの指数値およびTOPIXに係る標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

ひふみプラスとTOPIX（配当込み）の騰落率比較



期間：2022年12月末～2023年2月末、2023年1月末を100として指数化 出所：Bloomberg掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークスが作成
 TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。

※TOPIXの指数値およびTOPIXに係る標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

ひふみ投信

短期

2月の投資行動

- 長く持てる大型株をピックアップ。同時に優良小型株を発掘
- マーケットに負けないように柔軟に対応
- インバウンド恩恵銘柄（短中期）

中長期

長い目線で考えていること

- 日本銀行人事発表：植田新体制で政策修正を見据える
- 東証再編による企業行動から投資機会を模索

直近の保有銘柄推移

資産構成

2023年 1月末

国内株式	89.31%
海外株式	4.82%
現金等	5.87%
銘柄数	275

2023年 2月末

国内株式	88.33%
海外株式	5.00%
現金等	6.67%
銘柄数	282

組入上位10銘柄

No.	銘柄	銘柄名	内/外	G/V	比率
1	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	内需	バリュー	2.43 %
2	6857	アドバンテスト	外需	グロース	2.42 %
3	8766	東京海上ホールディングス	内需	バリュー	1.90 %
4	8750	第一生命ホールディングス	内需	バリュー	1.86 %
5	8316	三井住友フィナンシャルグループ	内需	バリュー	1.82 %
6	9432	日本電信電話	内需	バリュー	1.79 %
7	3769	GMOペイメントゲートウェイ	内需	グロース	1.77 %
8	6146	ディスコ	外需	グロース	1.55 %
9	2802	味の素	外需	バリュー	1.55 %
10	3774	インターネットイニシアティブ	内需	グロース	1.54 %
上位10銘柄合計					18.63 %

No.	銘柄	銘柄名	内/外	G/V	比率
1	6857	アドバンテスト	外需	グロース	2.80 %
2	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	内需	バリュー	2.32 %
3	8766	東京海上ホールディングス	内需	バリュー	1.99 %
4	6758	ソニーグループ	外需	グロース	1.92 %
5	8316	三井住友フィナンシャルグループ	内需	バリュー	1.79 %
6	9432	日本電信電話	内需	バリュー	1.79 %
7	8750	第一生命ホールディングス	内需	バリュー	1.75 %
8	3774	インターネットイニシアティブ	内需	グロース	1.70 %
9	6146	ディスコ	外需	グロース	1.69 %
10	3769	GMOペイメントゲートウェイ	内需	グロース	1.64 %
上位10銘柄合計					19.40 %

※ 各比率はひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率です。資産構成は小数点第三位を四捨五入して表示しているため合計が100%にならない場合があります。

※ バリュー・グロース・内需・外需等の分類は当社基準に拠るものです。

日本銀行人事発表！ 金融政策の行方は？

総裁候補

植田和男氏

東京大学名誉教授・**経済学者**

1998年から7年間日本銀行政策委員会審議委員。

副総裁候補

内田眞一氏 現・日本銀行理事

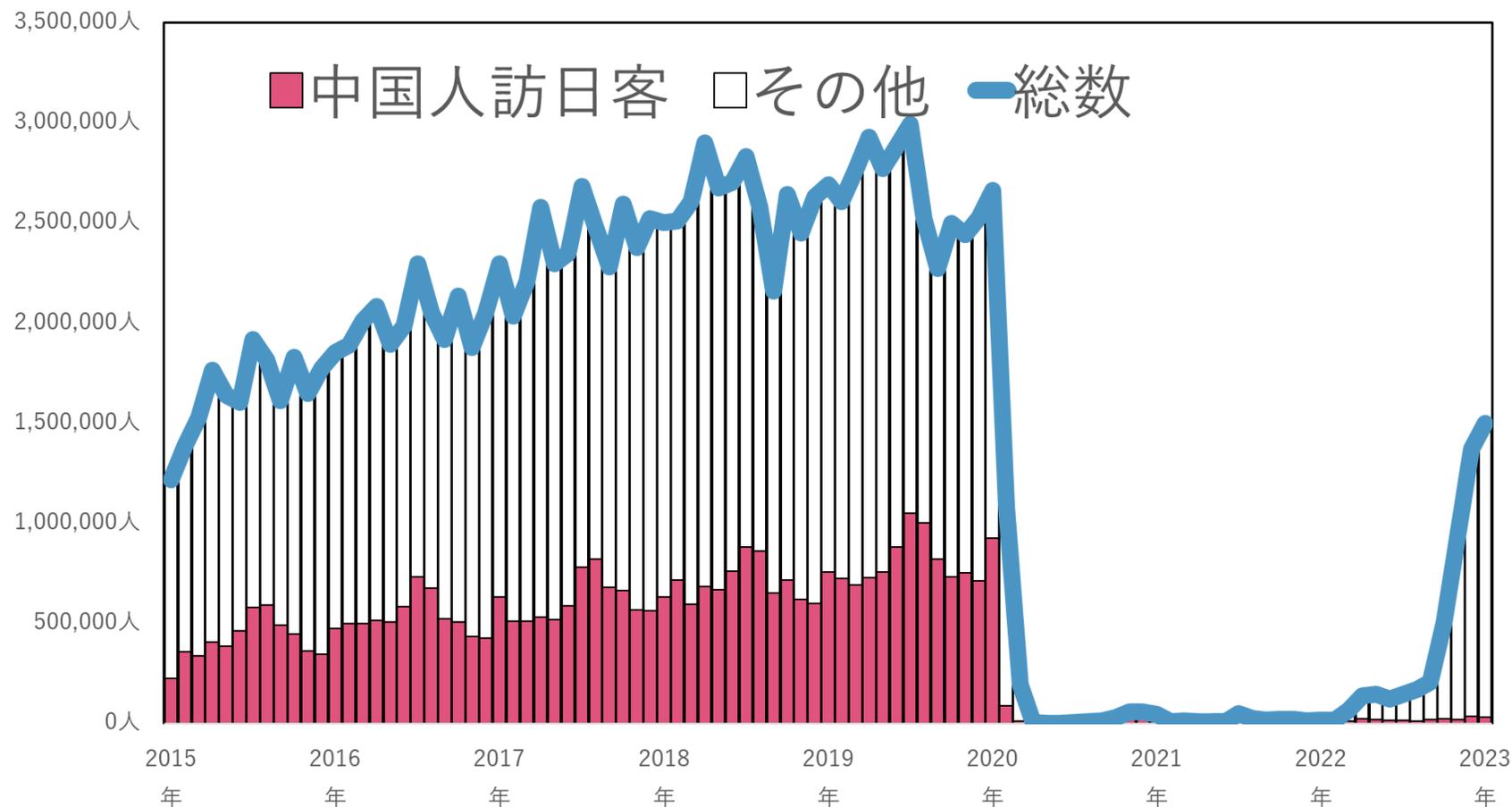
金融政策に精通。マイナス金利政策やイールドカーブコントロール導入に携わる

氷見野良三氏 元・金融庁長官

国際派。国際金融規制に精通しており金融安定理事会など要職を歴任

インバウンドは急回復

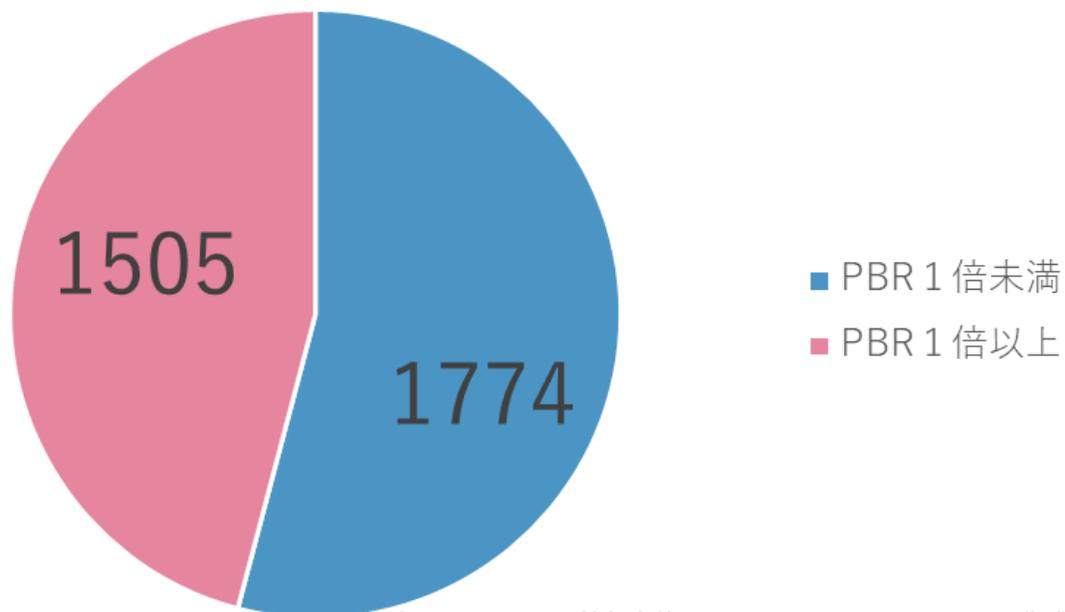
訪日外国人数推移



出所：Bloombergのデータを基にレオス・キャピタルワークス作成
期間：2015年1月~2023年1月

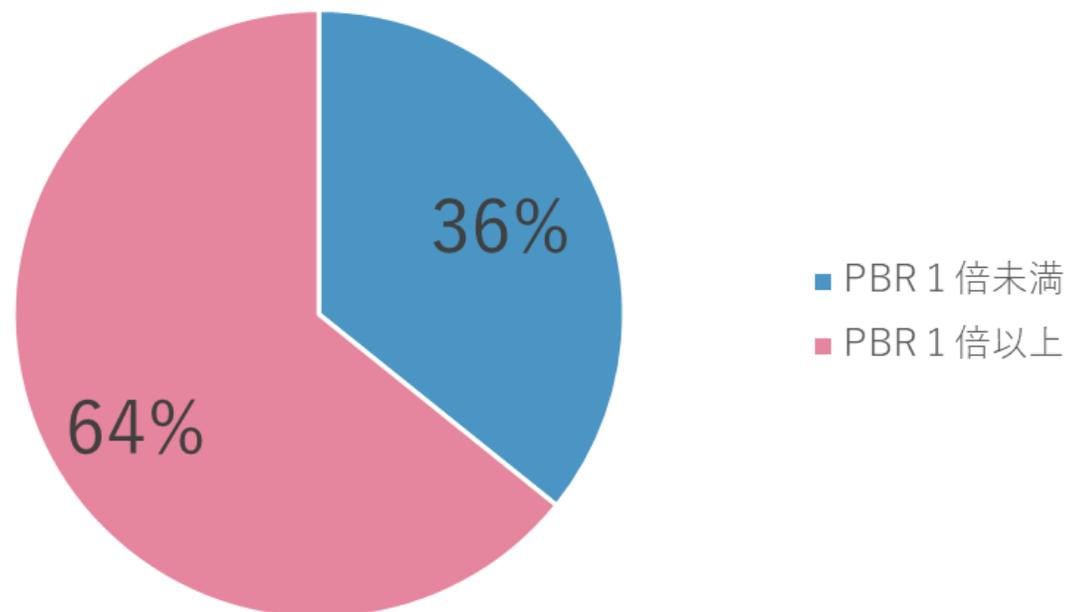
東証再編で変化する企業行動

東証プライム+スタンダード銘柄PBR1倍未満
(銘柄数)



出所：Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス作成
2023年3月6日時点

東証プライム+スタンダード銘柄PBR1倍未満割合
(時価総額)



出所：Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス作成
2023年3月6日時点



ひふみワールドマザーファンド 運用報告

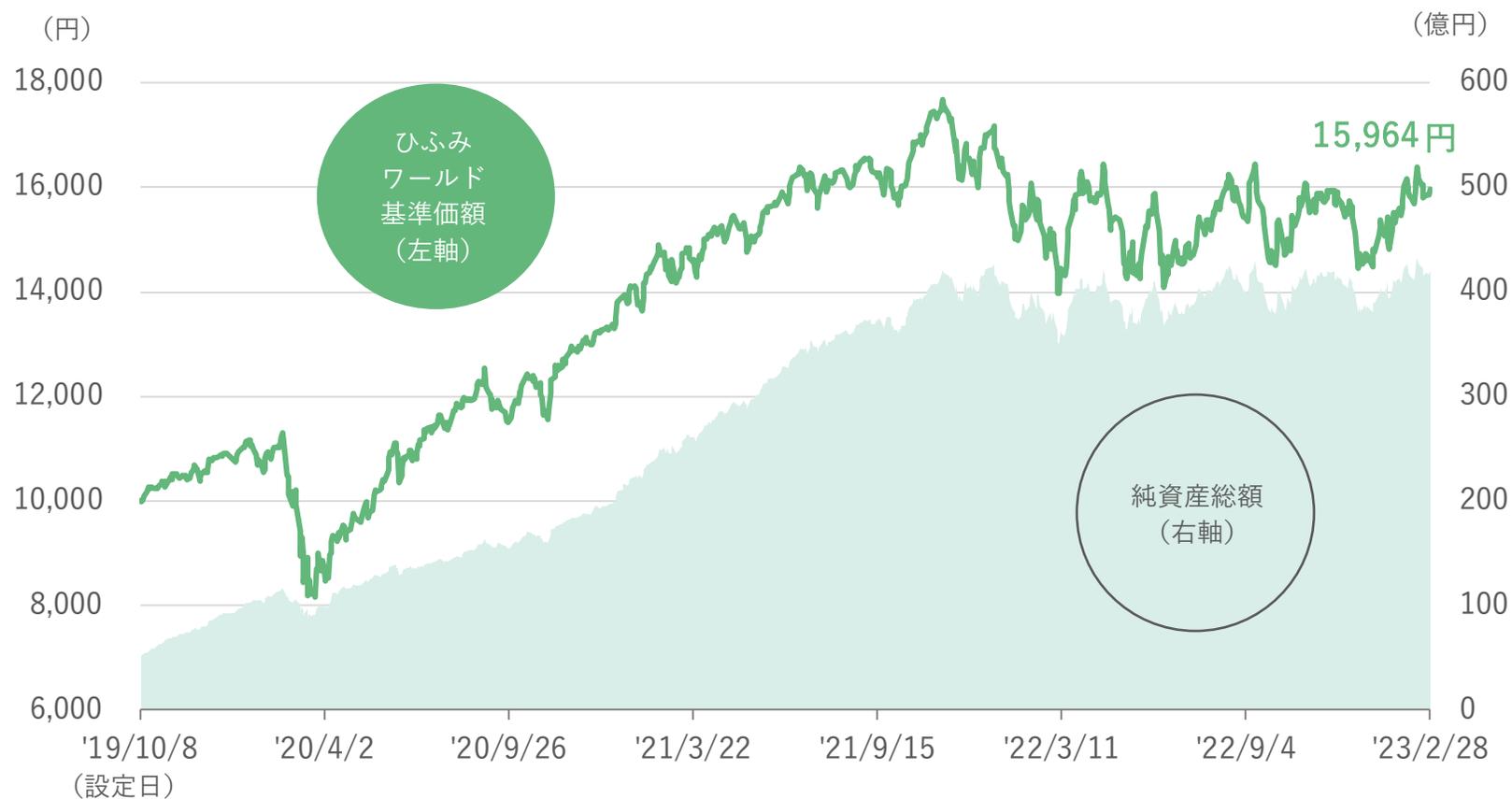
本日のトークテーマ

1. ひふみ : どうなる日銀の金融政策／東証再編による投資機会

2. ワールド : ポートフォリオの集約化／「穴」埋め

3. 債券 : 日本国債市場の今後／力強い米経済

ひふみワールド基準価額等の推移（日次）



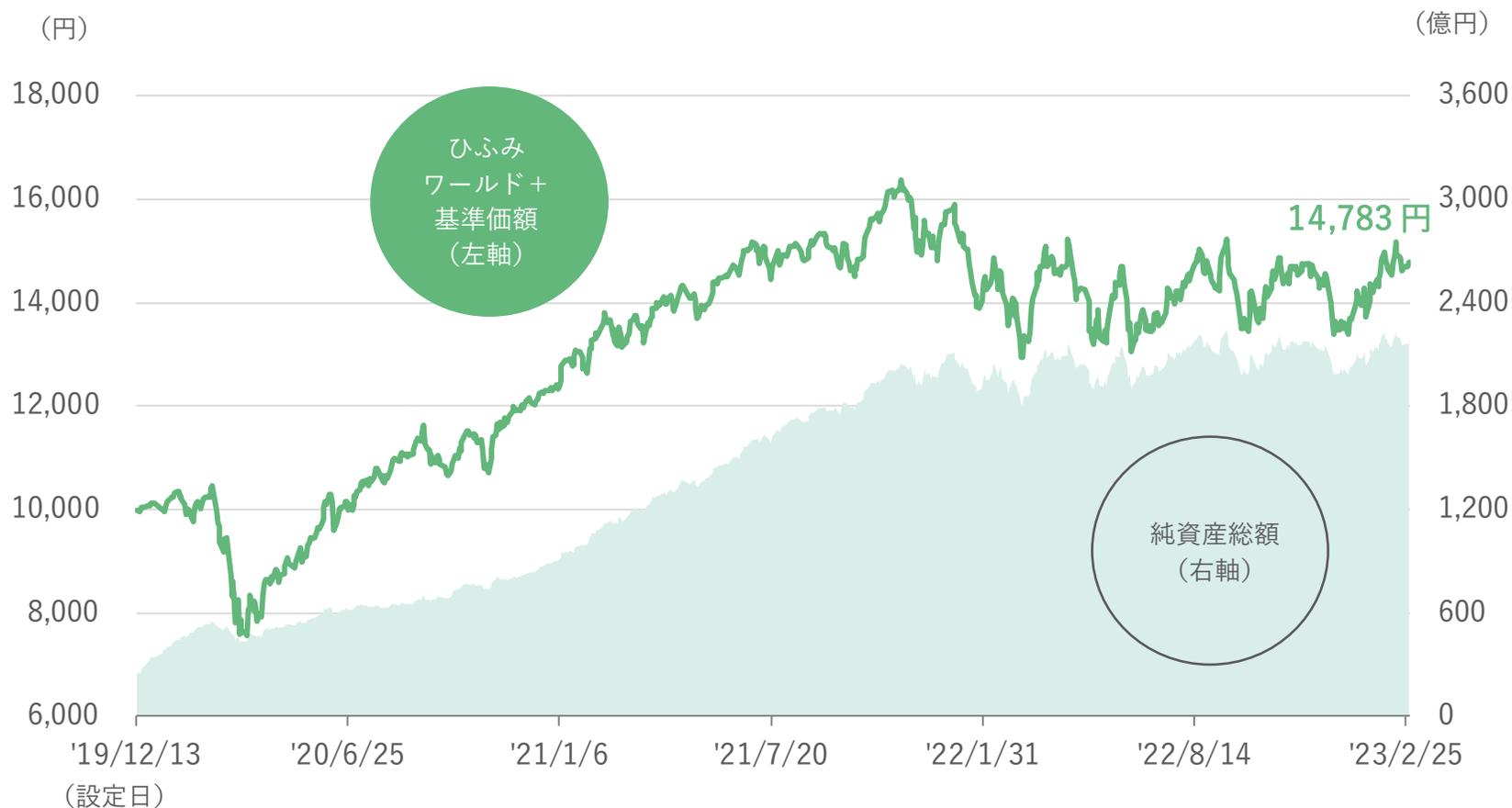
運用成績

	1カ月間	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	設定来
ひふみワールド	3.34%	1.97%	2.77%	5.02%	57.76%	59.64%

期間：2019年10月8日（設定日）～2023年2月末

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

ひふみワールド+基準価額等の推移（日次）



運用成績

	1カ月間	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	設定来
ひふみワールド+	3.36%	1.99%	2.79%	5.00%	57.50%	47.83%

期間：2019年12月13日（設定日）～2023年2月末

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

ひふみワールド

短期

2月の投資行動

- 投資銘柄の集約化を継続。安心して投資できる企業群へ集中
- 景気拡大を見据えて原油関連銘柄仕込む
- FEDの動向を注視

中長期

長い目線で考えていること

- 「穴」を埋める：様々リスクに対処できるポートフォリオづくり
保有していることによるリスクに対処

直近の保有銘柄推移

資産構成

2023年 1月末

海外株式	94.64%
海外投資証券	0.44%
現金等	4.92%
銘柄数	152

2023年 2月末

海外株式	96.54%
海外投資証券	—
現金等	3.46%
銘柄数	144

組入上位10銘柄

No.	銘柄名	国	業種	比率
1	MICROSOFT CORPORATION	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.67 %
2	TETRA TECH, INC	アメリカ	商業・専門サービス	2.54 %
3	MOTOROLA SOLUTIONS, INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.36 %
4	PALO ALTO NETWORKS, INC.	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.07 %
5	INTUIT INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.06 %
6	FERRARI NV	イタリア	自動車・自動車部品	2.06 %
7	MTU AERO ENGINES AG	ドイツ	資本財	2.04 %
8	COMPAGNIE FINANCIERE RICHEMONT SA	スイス	耐久消費財・アパレル	2.02 %
9	ORACLE CORPORATION	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.93 %
10	ACCENTURE PLC	アイルランド	ソフトウェア・サービス	1.86 %
上位10銘柄合計				21.62 %

No.	銘柄名	国	業種	比率
1	COMPAGNIE FINANCIERE RICHEMONT SA	スイス	耐久消費財・アパレル	2.65 %
2	PALO ALTO NETWORKS, INC.	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.55 %
3	MOTOROLA SOLUTIONS, INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.53 %
4	FERRARI NV	イタリア	自動車・自動車部品	2.46 %
5	TETRA TECH, INC	アメリカ	商業・専門サービス	2.34 %
6	INTUIT INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.11 %
7	DR. ING. H.C. F. PORSCHE AG	ドイツ	自動車・自動車部品	2.03 %
8	ORACLE CORPORATION	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.01 %
9	MICROSOFT CORPORATION	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.99 %
10	ACCENTURE PLC	アイルランド	ソフトウェア・サービス	1.86 %
上位10銘柄合計				22.54 %

※ 資産構成の「株式」には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

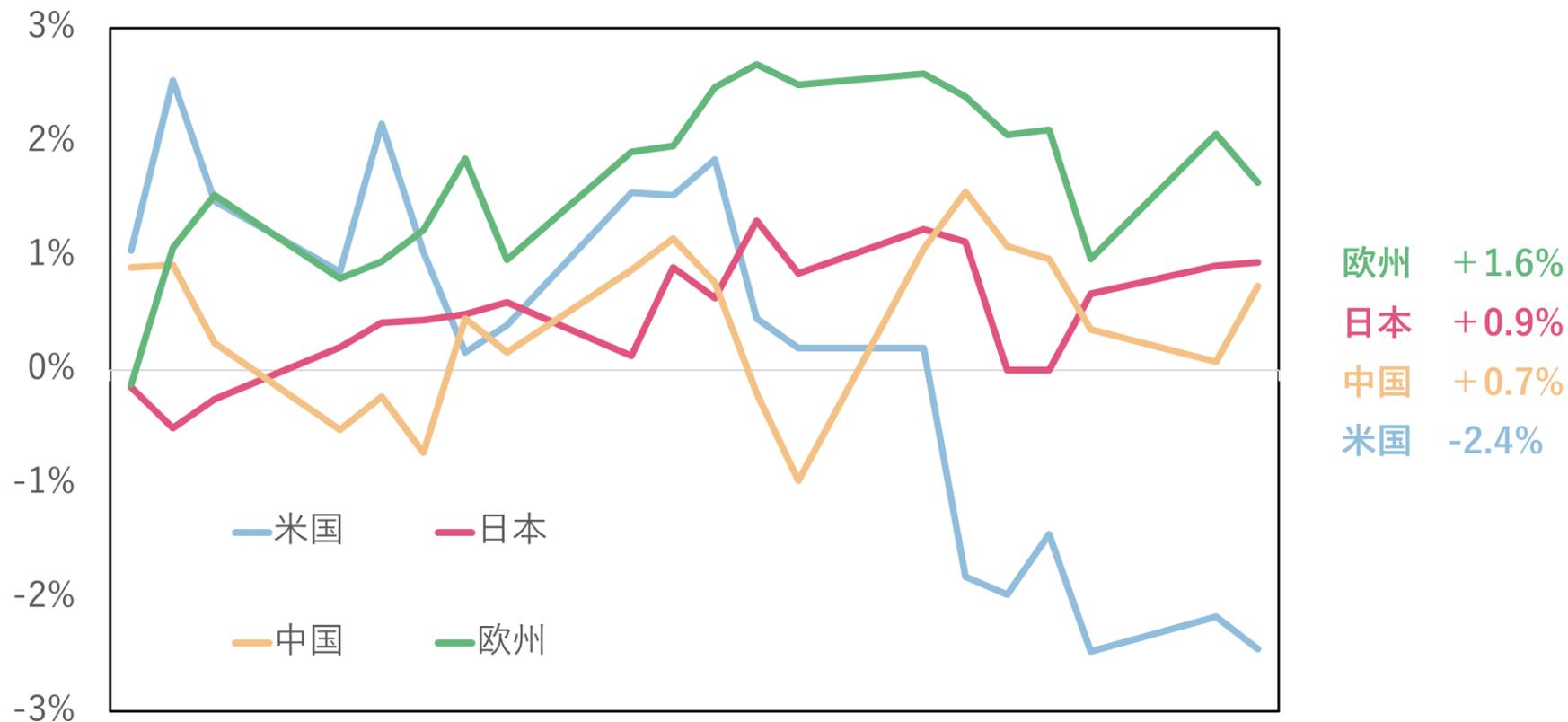
※ 各比率はひふみワールドマザーファンドの純資産総額に対する比率です。資産構成は小数点第三位を四捨五入して表示しているため合計が100%にならない場合があります。

※ 組入上位10銘柄の「国」は原則として発行国を表示しています。なお、国には地域が含まれます。「業種」は原則としてGICS(世界産業分類基準)の産業グループ分類に準じて表示しています。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

2月の株式市場は米国以外横ばい

各国株価推移



出所：Bloombergのデータを基にレオス・キャピタルワークス作成
期間：2023年1月31日～2023年2月28日

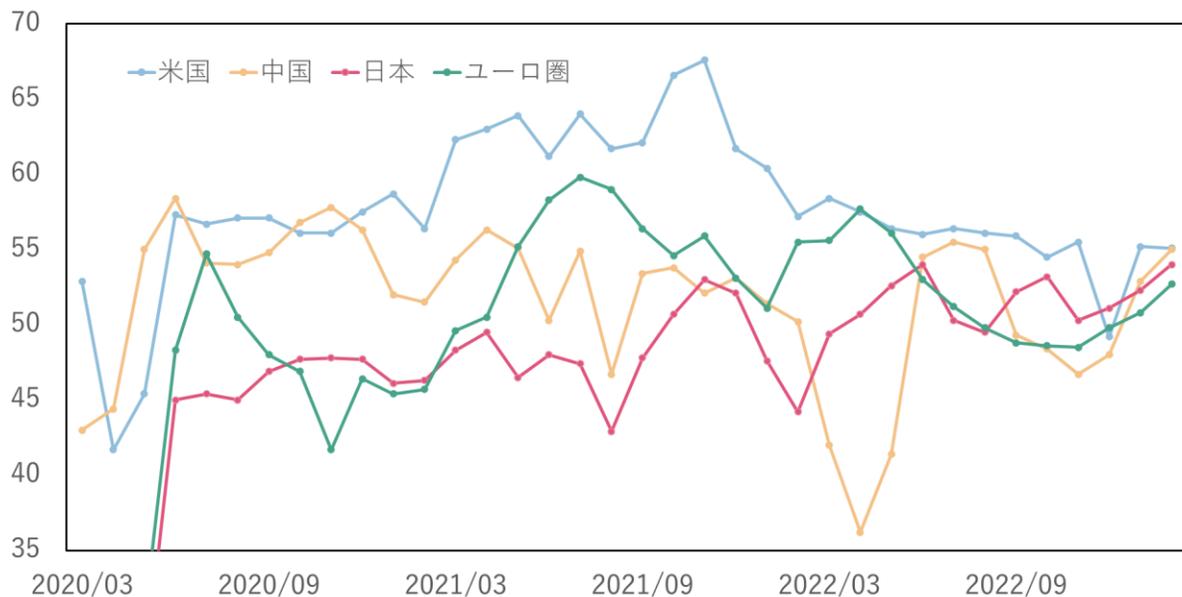
米国：S&P500、日本：TOPIX、中国：上海総合、欧州：S&P欧州300

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

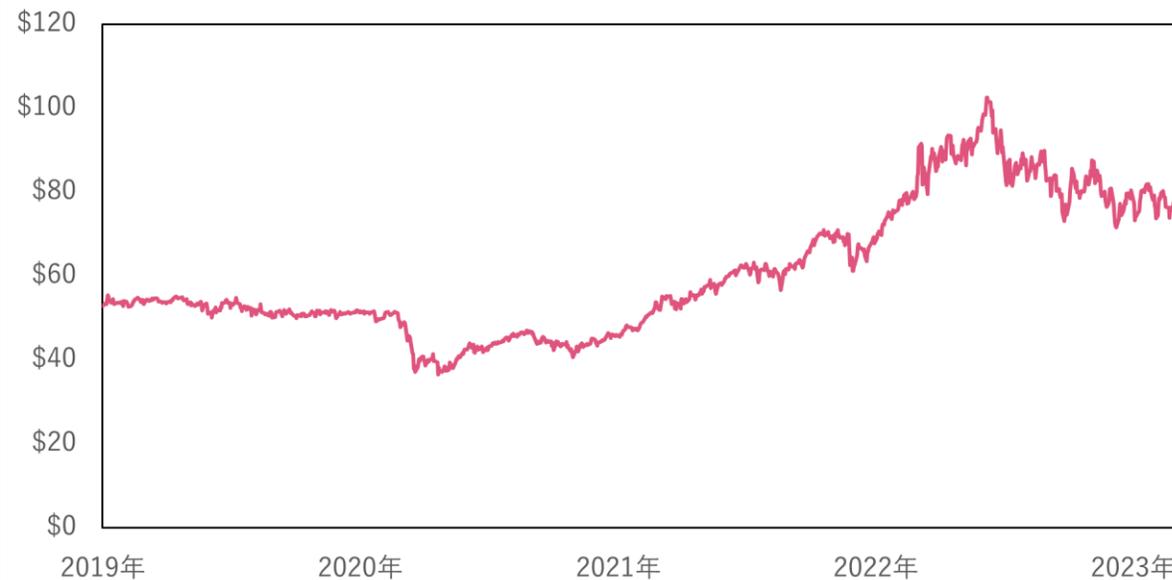
年初以降世界経済は回復傾向

PMI非製造業指数



出所：Bloombergのデータを基にレオス・キャピタルワークス作成
期間：2019年1月~2023年3月

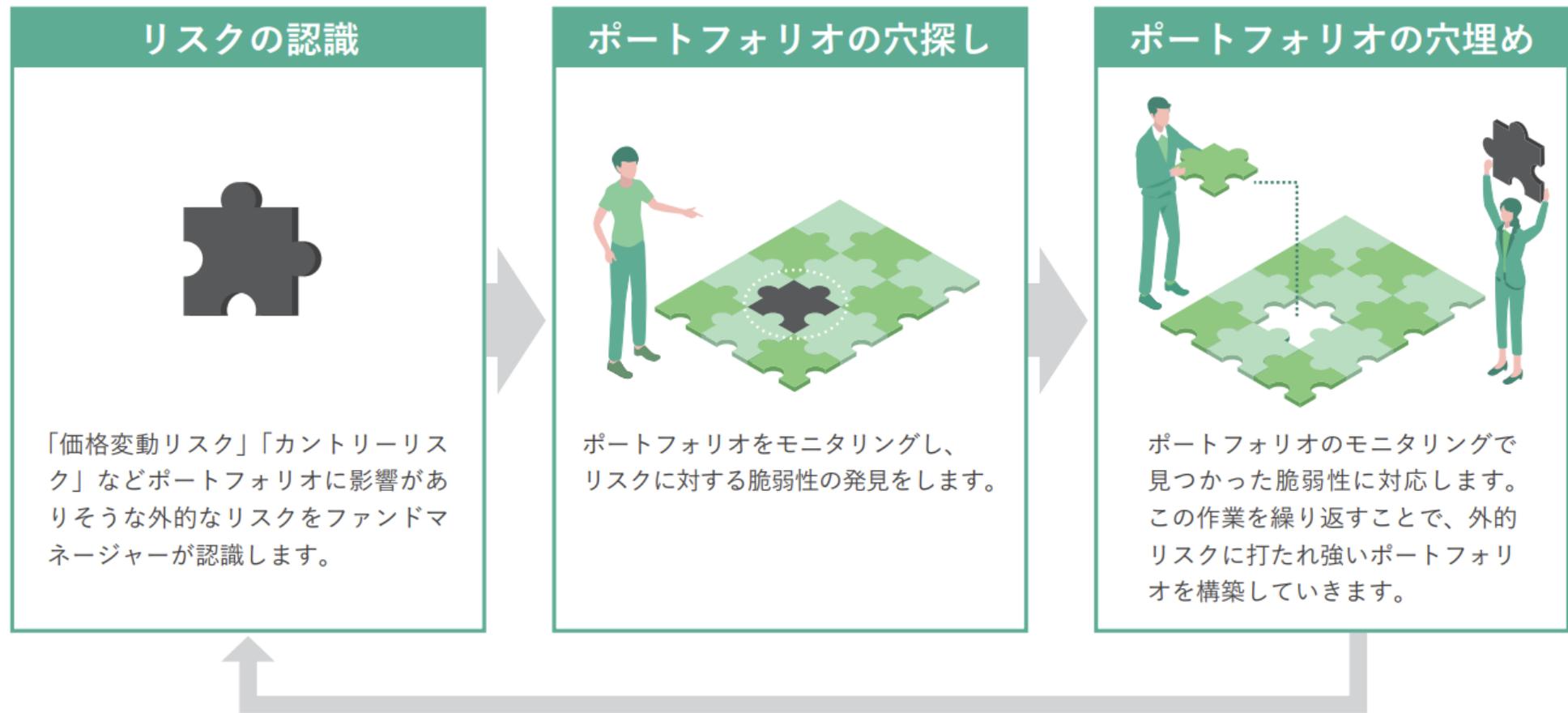
WTI原油先物



出所：Bloombergのデータを基にレオス・キャピタルワークス作成
期間：2019年1月~2023年3月

➡ インフレ長期化懸念、ターミナルレートの上昇

穴を埋めるとは？





ひふみグローバル債券 マザーファンド 運用報告

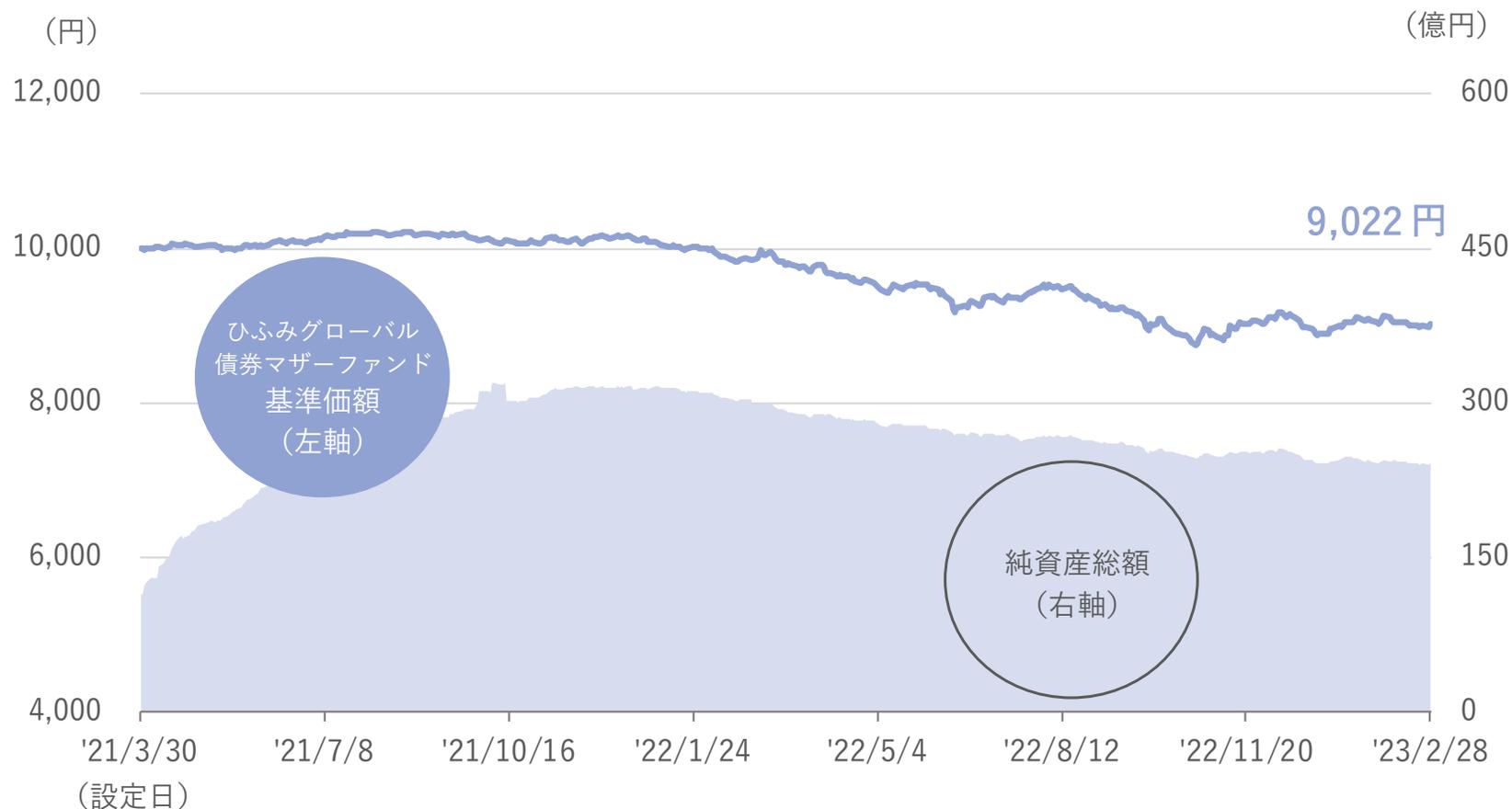
本日のトークテーマ

1. ひふみ : どうなる日銀の金融政策／東証再編による投資機会

2. ワールド : ポートフォリオの集約化／「穴」埋め

3. 債券 : 日本国債市場の今後／力強い米経済

ひふみグローバル債券マザーファンド基準価額等の推移（日次）



運用成績

	1カ月間	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	設定来
ひふみグローバル 債券マザーファンド	-0.10%	-0.11%	-3.25%	-8.55%	-	-9.78%

期間：2021年3月30日（設定日）～2023年2月末

※運用成績の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

ひふみグローバル債券マザーファンド

短期

2月の投資行動

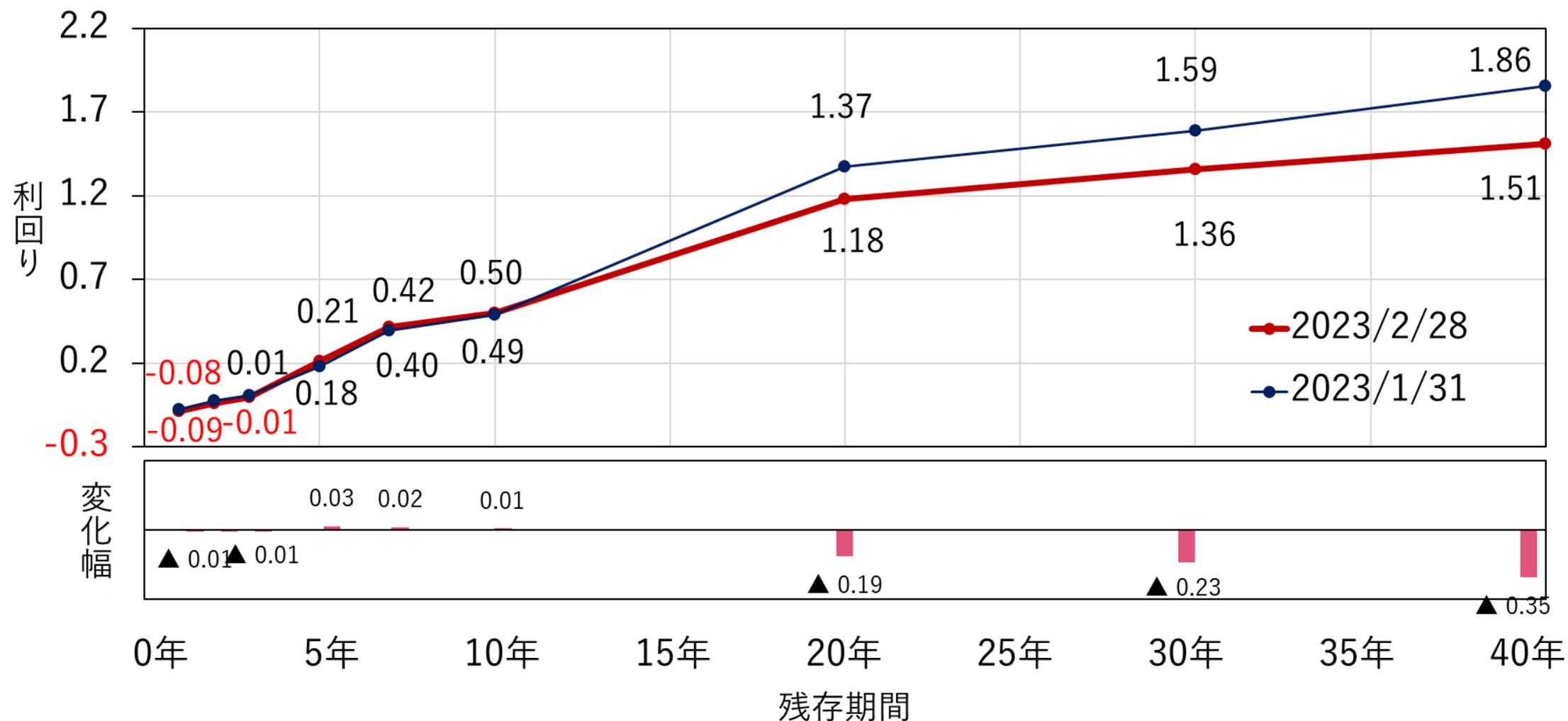
- 日本：超長期債を选好

中長期

長い目線で考えていること

- 日本：政策修正とインフレの動向を注視
- 米国：フラットニングポジション解消のタイミングを模索
- 欧州：根強いインフレ圧力：引き続き少なめ

日本国債イールドカーブ変化



日銀総裁・副総裁候補所信表明

■ 金融緩和の見直しに関して

基調的な物価は2%の実現が見通せる場合には金融政策の正常化に向かって踏み出せる（植田）

政策点検はFEDやECBなど通常1年～1.5年かけて行われる。ひとつの参考になる（内田）

■ 政府・日銀共同声明に関して

共同声明を直ちに見直す必要があるとは今のところ考えていない（植田）

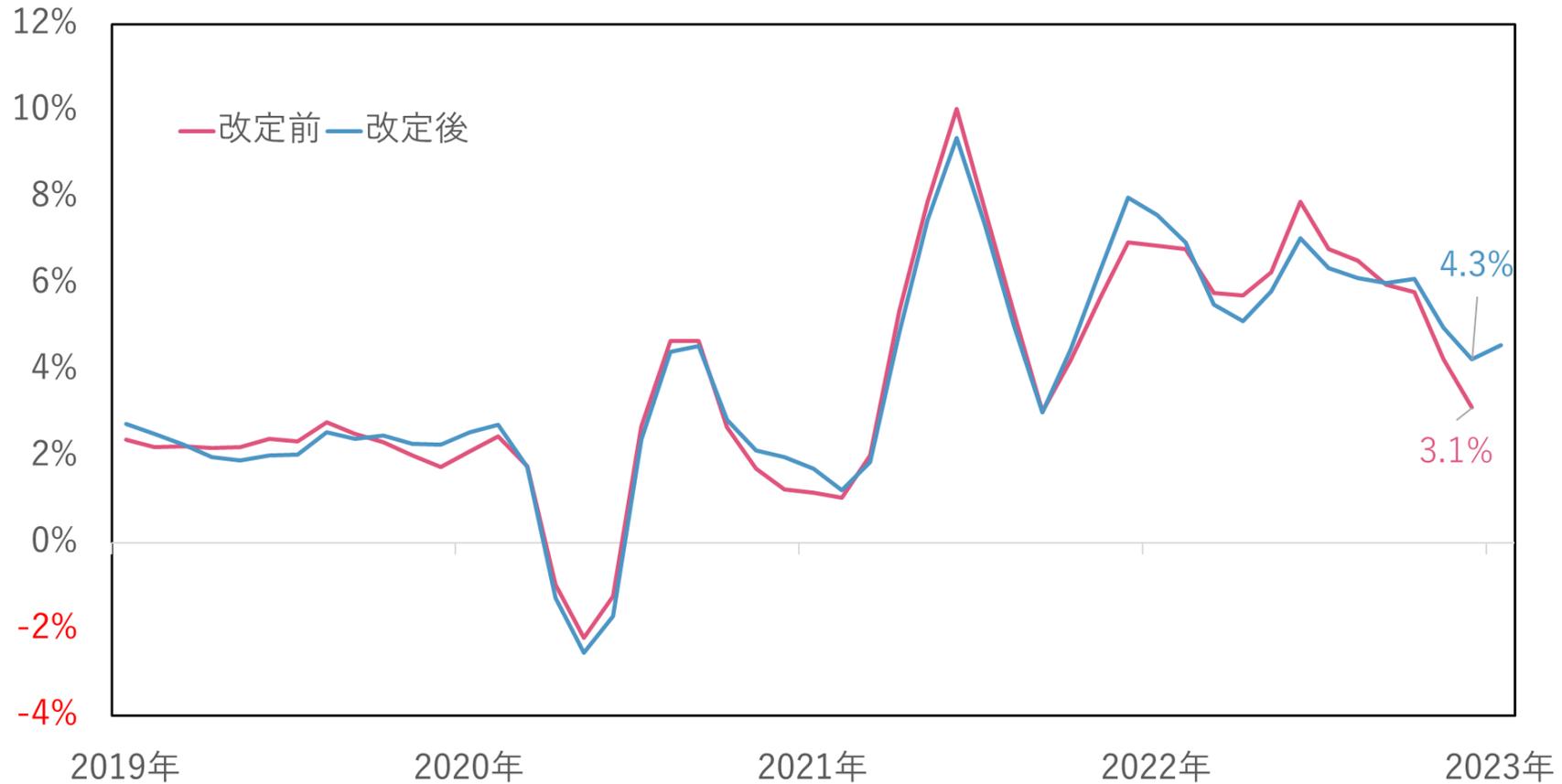
■ イールドカーブコントロールについて

様々な副作用を生じさせている面は否定できない。コントロール対象を10年より短いところにするというやり方は将来の1つのオプション（内田）

イールドカーブコントロールを時間をかけて望ましい姿を議論（植田）

米国CPIの様相が変化（3ヵ月前比年率）

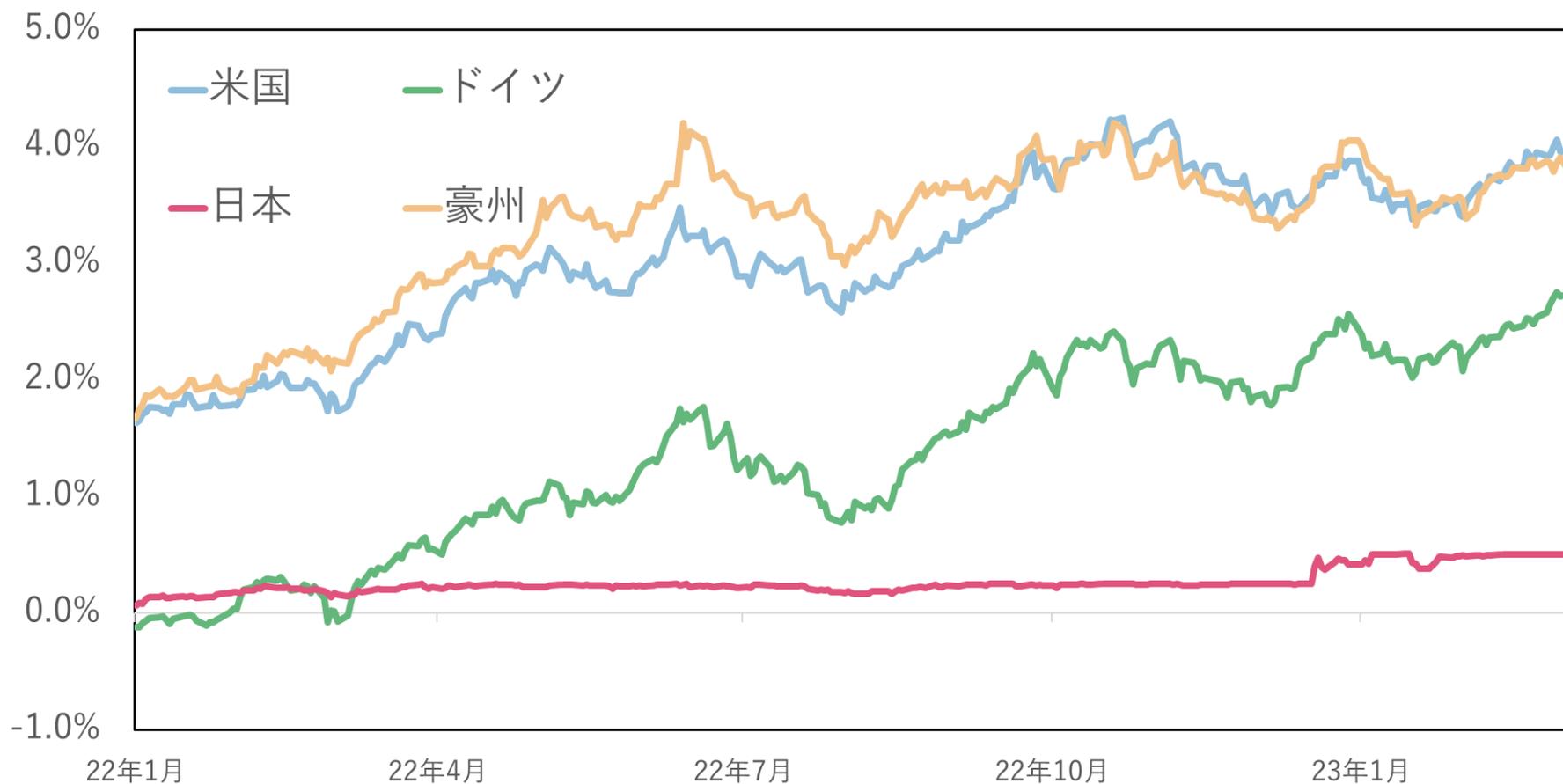
米国CPI季節調整改定前・改定後



出所：Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス作成
期間：2019年1月～2022年2月

2月は金利上昇の月に

各国10年金利推移



出所：Bloombergのデータを基にレオス・キャピタルワークス作成
期間：2022年1月3日~2023年3月7日



ひふみらいと・まるごとひふみ 運用報告

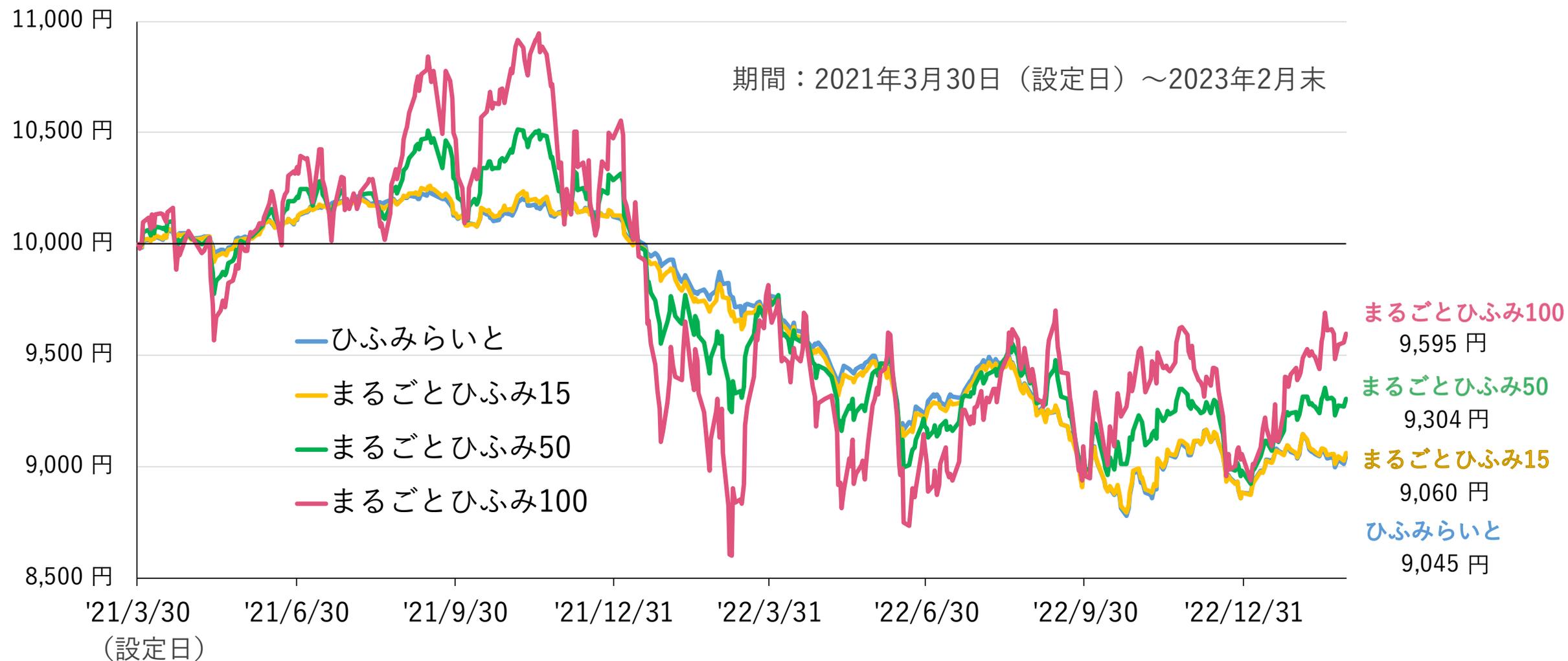
ひふみらいと・まるごとひふみの運用状況

2023年2月単月のリターン

ひふみ投信 マザーファンド	1.58%	ひふみワールド ファンド※	3.44%	ひふみグローバル 債券マザーファンド	-0.10%
------------------	-------	------------------	-------	-----------------------	--------

ひふみらいと	0.12%
まるごとひふみ 15	0.21%
まるごとひふみ 50	1.03%
まるごとひふみ100	2.23%

まるごとひふみ・ひふみらいとの基準価額の推移（日次）



債券の入るバランスファンドに投資する意義は？

- 期待リターンだけを考慮するのであれば株式100%が合理的
- 人間は感情の生き物。株式100%では値動きの大きさが嫌になる人も
- バランスファンドは心穏やかに投資を継続する手段の一つとして有効

Q&A

ひろみの夜会

運用メンバーが皆さんの疑問にお答えします!



来月からアカデミーの開始時間が変わります

変更

時間が変わります。

~~20:00～21:00開催~~

19:00～20:15

当社セミナールームから配信

【レオスメンバーが全国行脚中】 つみたてキャラバン



3月18日（土）福島県 郡山市

3月19日（日）愛知県 名古屋市

3月19日（日）岩手県 盛岡市

3月25日（土）北海道 札幌市*

*札幌証券取引所 主催『投資の基礎を学び、資産形成に繋げよう ～ 将来不安を解消するためにも～』へ参加いたします。

【満員御礼】3月26日（日）富山県

ひふみ公式チャンネル
チャンネル登録よろしくお願ひします！

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 投資信託のお取引は、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動を直接の原因として損失が生じることとなるおそれがあり、基準価額の下落により元本欠損が生じる可能性があります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は、預金等や保険契約とは異なります。
- 当資料は、当社の商品をご理解いただくための情報提供資料としてレオス・キャピタルワークスが作成したものです。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当動画のコメント等は、配信時点での当社の見解を示すものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きや結果を保証するものではありません。ならびに、当社が運用する投資信託への組み入れ等をお約束するものではなく、また、金融商品等の売却・購入等の行為の推奨を目的とするものではありません。

作成：2023年3月

当社が運用する公募投資信託のリスク / 費用

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行えない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク (エマージング市場に 関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

お客様の負担となる費用について

- ◆ お客様に直接ご負担いただく費用
 - ・ **購入時手数料** 上限 **3.30%**（税抜3.00%）※当社が直接販売している投資信託は購入時手数料はありませんが、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。 ※販売会社を通じて購入できる投資信託につきましては、購入時手数料は各販売会社ごとに定める料率となりますので、各販売会社までお問い合わせください。
 - ・ **換金（解約）時手数料・信託財産留保額** ありません。
- ◆ お客様に間接的にご負担いただく費用
 - ・ **信託報酬** 信託財産の純資産総額に対して 上限 **年率1.6280%**（税抜1.4800%）
 - ・ **監査費用** 信託財産の純資産総額に対して **年率0.0055%**（税抜0.005%）以内を乗じて得た額
 - ・ **その他の費用** 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など。これらの費用については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。
- ◆ **ご注意**
 - ・ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、レオス・キャピタルワークスが運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

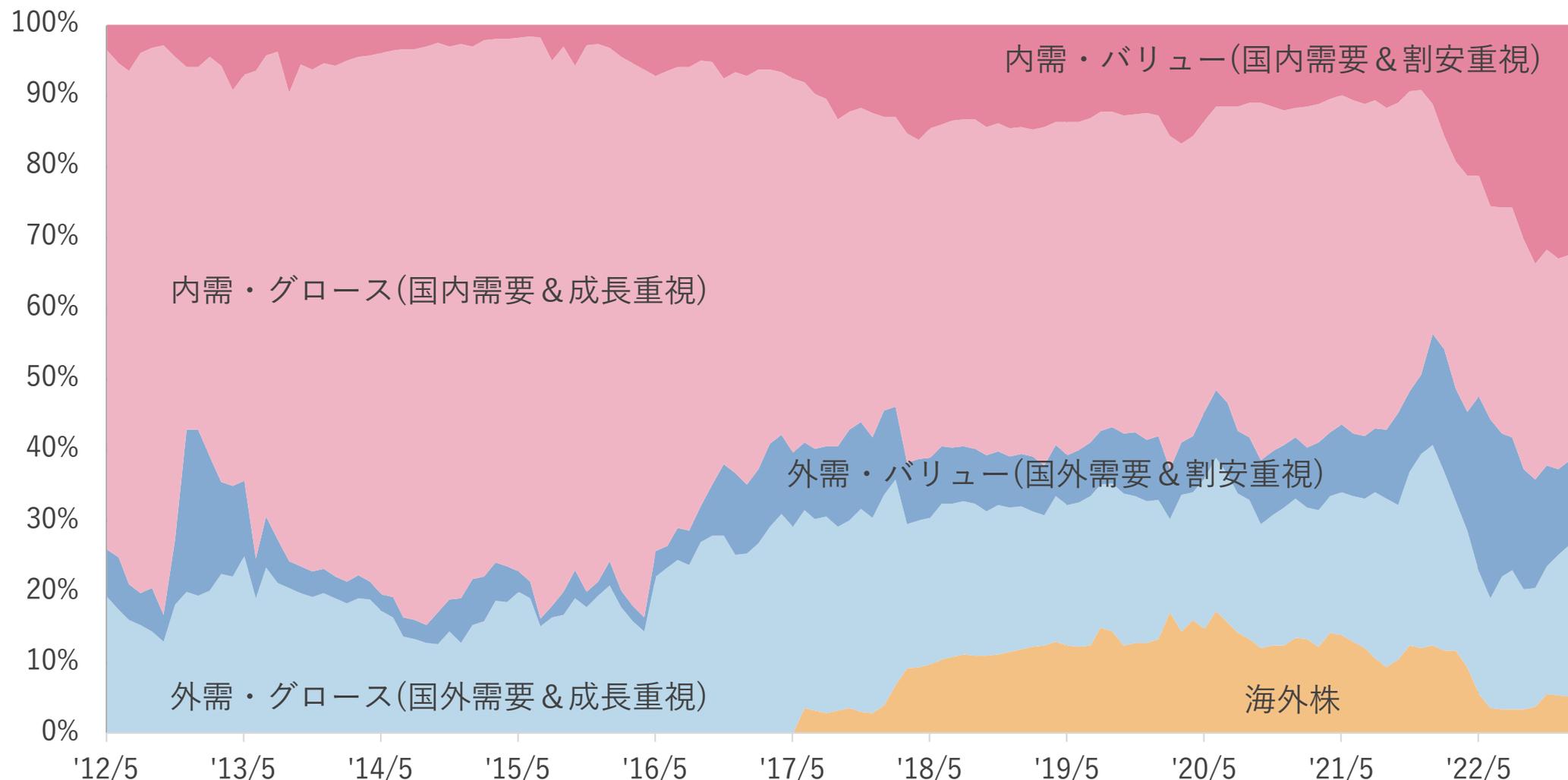
投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは各販売会社まで。

当社が直接販売する投資信託の詳細情報の照会先：コミュニケーション・センター 03-6266-0123（受付時間 営業日の9時～17時） <https://hifumi.rheos.jp/>

Appendix

補足

保有銘柄分類の推移



期間：2012年5月～2023年2月末時点 割合：ひふみ投信マザーファンドの株式資産に対する構成比率
バリュー・グロース・内需・外需等の分類は当社基準に拠るものです。「海外株」には海外投資証券が含まれます。

TOPIXとTOPIXのEPS（一株当たり利益）の推移

$$\text{株価} = \text{1株当たり利益 (EPS)} \times \text{株価収益率 (PER)}$$



期間:2007年12月末~2023年2月末
出所:Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス作成
予想EPSはBloombergの当年度予想と来年度予想の合成値を使用

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご確認ください。

TOPIXのPER水準

株価

=

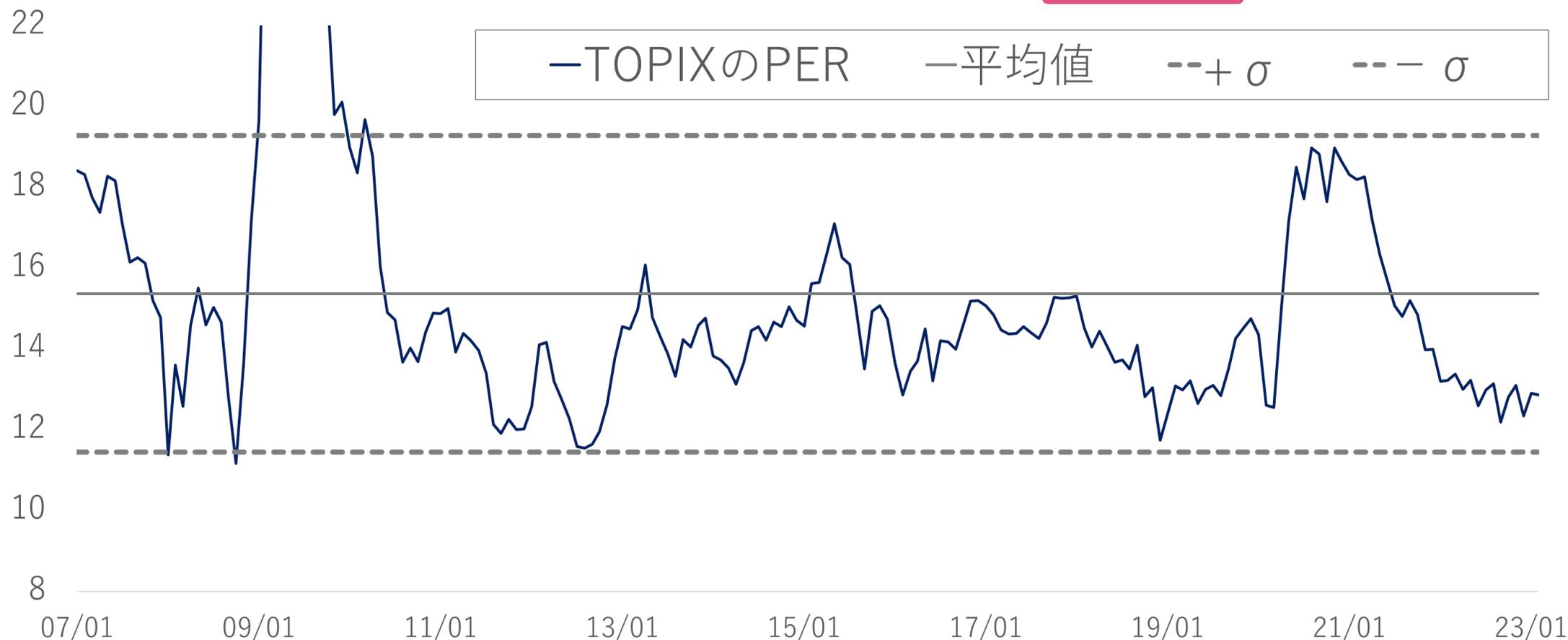
EPS

×

PER

1株当たり利益

株価収益率



期間:2007年12月末~2023年2月末
出所:Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス作成
予想EPSはBloombergの当年度予想と来年度予想の合成値を使用

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

TOPIXのEPSとPER変化率の推移

1株当たり利益

株価収益率

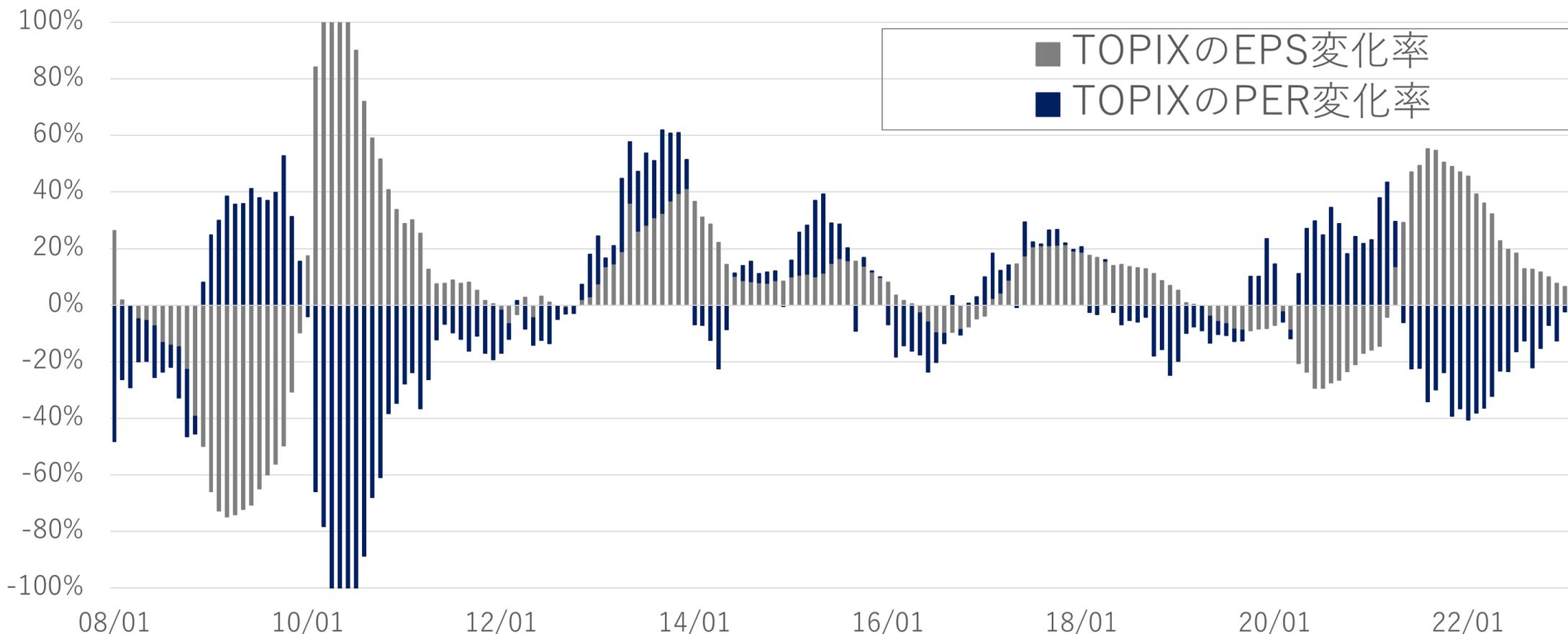
株価

=

EPS

×

PER



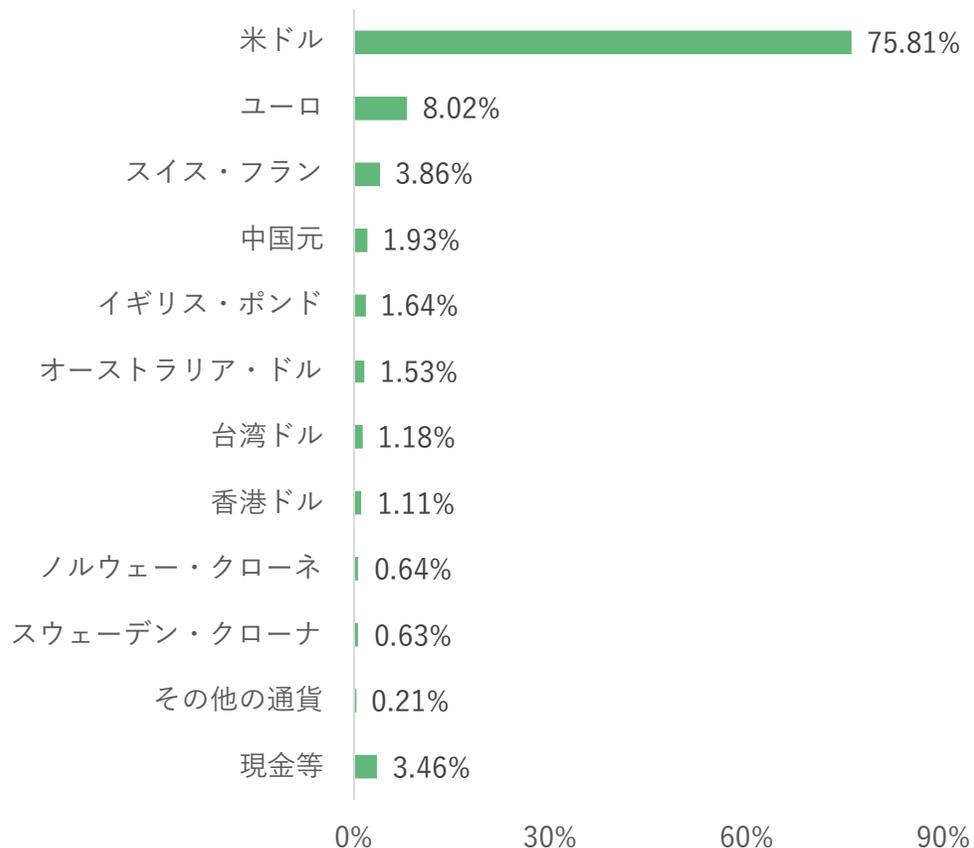
期間:2007年12月末~2023年2月末

出所:Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス作成
 予想EPSはBloombergの当年度予想と来年度予想の合成値を使用

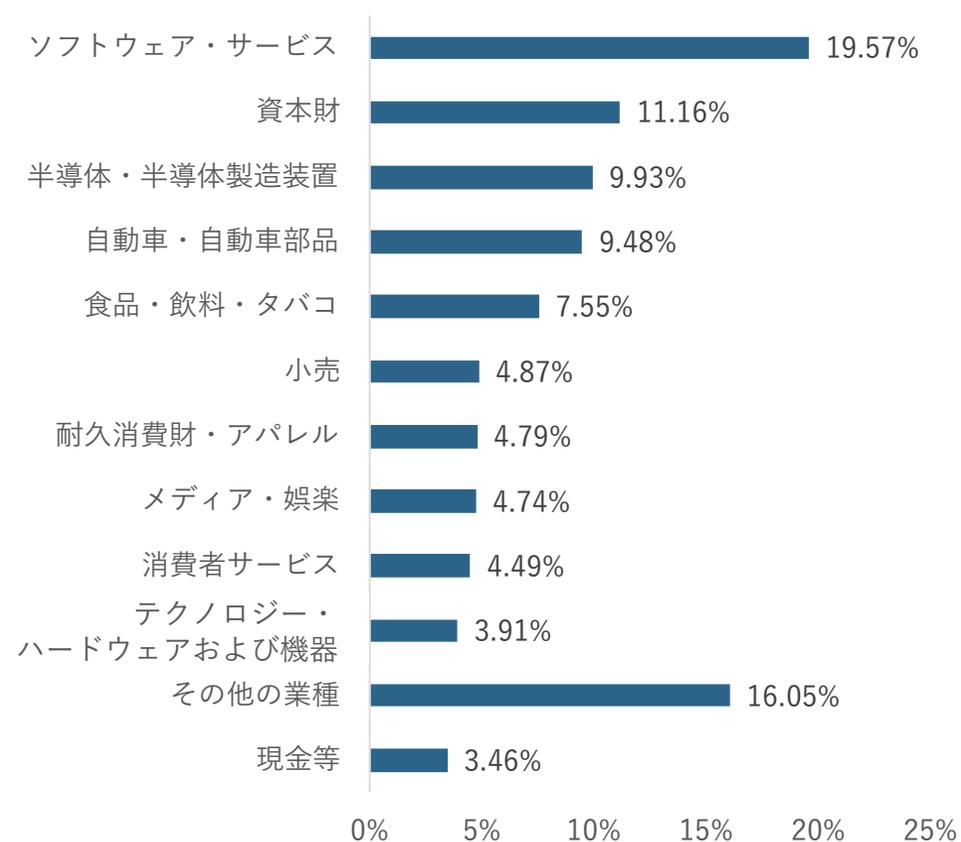
※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

2023年2月末時点ポートフォリオ配分比率

通貨別比率



業種別比率



※各比率はひふみワールドマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※通貨別比率は株式における上位10通貨を表示し以降は「その他の通貨」としてしています。

※業種別比率は株式における上位10種を表示し以降は「その他の業種」としてしています。業種は原則として GICS (世界産業分類基準)の産業グループ分類に準じて表示しています。なお「その他の業種」は海外投資証券を含みます。

※比率は小数点第三位を四捨五入して表示しているため、合計が100%にならない場合があります。

2023年2月末時点 ひふみグローバル債券マザーファンド運用状況

種別比率

種別	組入比率
国債	52.83%
社債	24.17%
住宅ローン担保証券	6.31%
特殊債	2.91%
地方債	1.81%
国際機関債	1.05%
現金等	10.93%

通貨別比率

通貨	組入比率
米ドル	43.05%
日本円	20.77%
ユーロ	20.09%
中国元	2.91%
オーストラリア・ドル	1.81%
メキシコ・ペソ	0.45%

為替ヘッジ比率：97.19%

ポートフォリオ特性値

最終利回り	3.34%
デュレーション	8.0

※ 各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※ 為替ヘッジ比率は、純資産総額に対する為替予約評価額と円貨資産額の合計の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

※ ポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものです。

なお、債券先物を含めて計算しています。（Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成）

最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。

デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。

直近の保有銘柄推移

資産構成

2023年 1月末

海外債券	65.76%
国内債券	21.08%
現金等	13.16%
銘柄数	35

2023年 2月末

海外債券	68.30%
国内債券	20.77%
現金等	10.93%
銘柄数	37

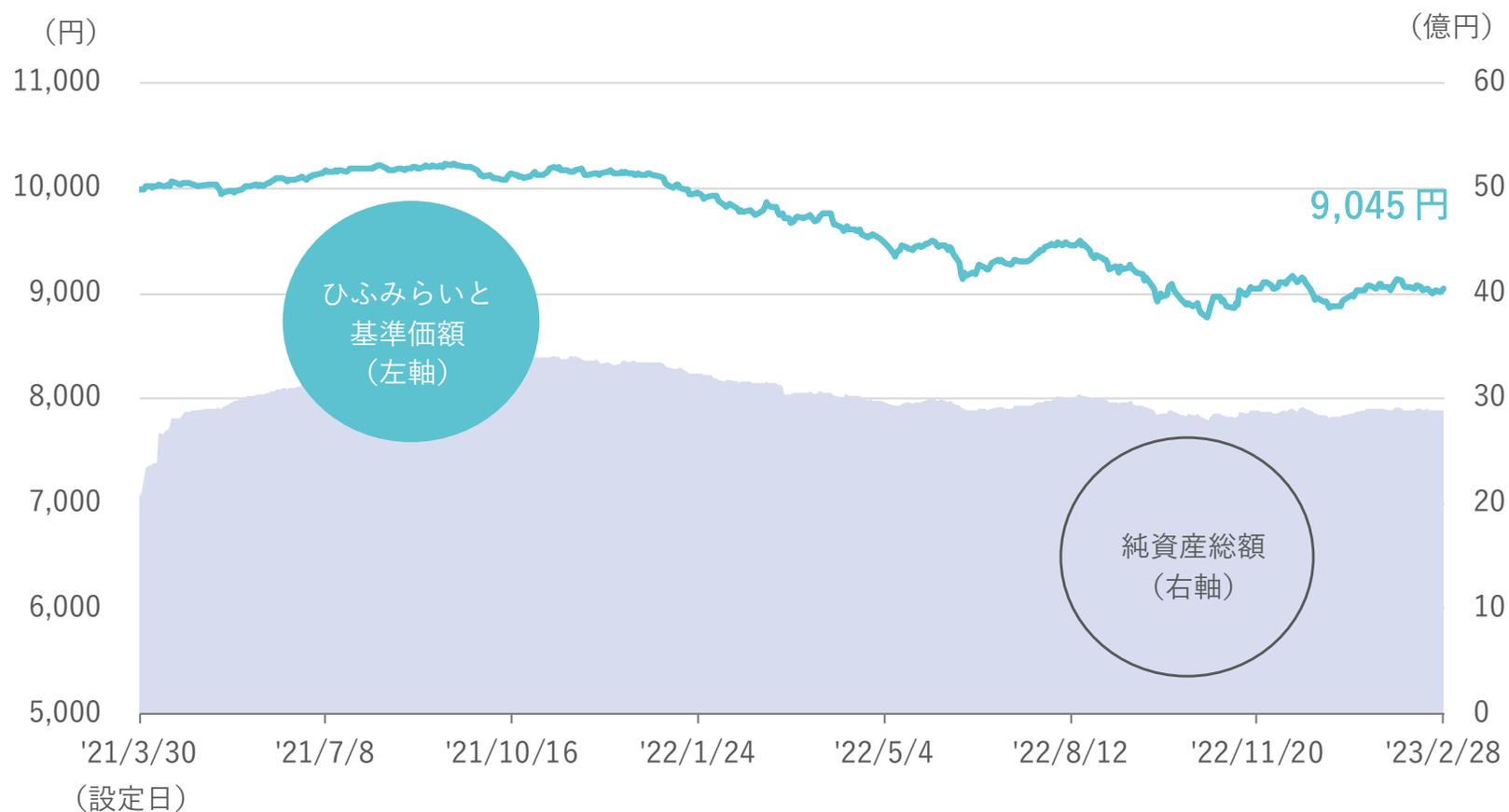
組入上位10銘柄

No.	銘柄名	種別	通貨	償還日	比率
1	日本国債（30年）	国債	日本円	2052/12/20	10.73 %
2	米国国債	国債	米ドル	2041/2/15	7.68 %
3	スペイン国債	国債	ユーロ	2032/10/31	6.43 %
4	イタリア国債	国債	ユーロ	2032/12/1	6.10 %
5	米国国債	国債	米ドル	2027/12/31	4.35 %
6	米国住宅ローン担保証券	住宅ローン担保証券	米ドル	2052/3/25	4.04 %
7	日本国債（40年）	国債	日本円	2062/3/20	3.67 %
8	バンク・オブ・アメリカ	社債	ユーロ	2026/9/22	3.48 %
9	米国国債	国債	米ドル	2041/8/15	3.33 %
10	三井住友フィナンシャルグループ	社債	米ドル	2027/1/14	3.17 %
上位10銘柄合計					52.98 %

No.	銘柄名	種別	通貨	償還日	比率
1	日本国債（30年）	国債	日本円	2052/12/20	9.60 %
2	米国国債	国債	米ドル	2041/2/15	7.68 %
3	スペイン国債	国債	ユーロ	2033/4/30	6.31 %
4	イタリア国債	国債	ユーロ	2032/12/1	6.19 %
5	米国国債	国債	米ドル	2027/12/31	5.02 %
6	米国住宅ローン担保証券	住宅ローン担保証券	米ドル	2052/3/25	4.12 %
7	日本国債（40年）	国債	日本円	2062/3/20	3.99 %
8	バンク・オブ・アメリカ	社債	ユーロ	2026/9/22	3.60 %
9	三井住友フィナンシャルグループ	社債	米ドル	2027/1/14	3.37 %
10	米国国債	国債	米ドル	2041/8/15	3.33 %
上位10銘柄合計					53.21 %

※ 各比率はひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率です。資産構成は小数点第三位を四捨五入して表示しているため合計が100%にならない場合があります。

ひふみらいと 基準価額等の推移（日次）



運用成績

	1カ月間	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	設定来
ひふみらいと	0.12%	-0.07%	-2.89%	-7.60%	-	-9.55%

期間：2021年3月30日（設定日）～2023年2月末

※運用成績の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

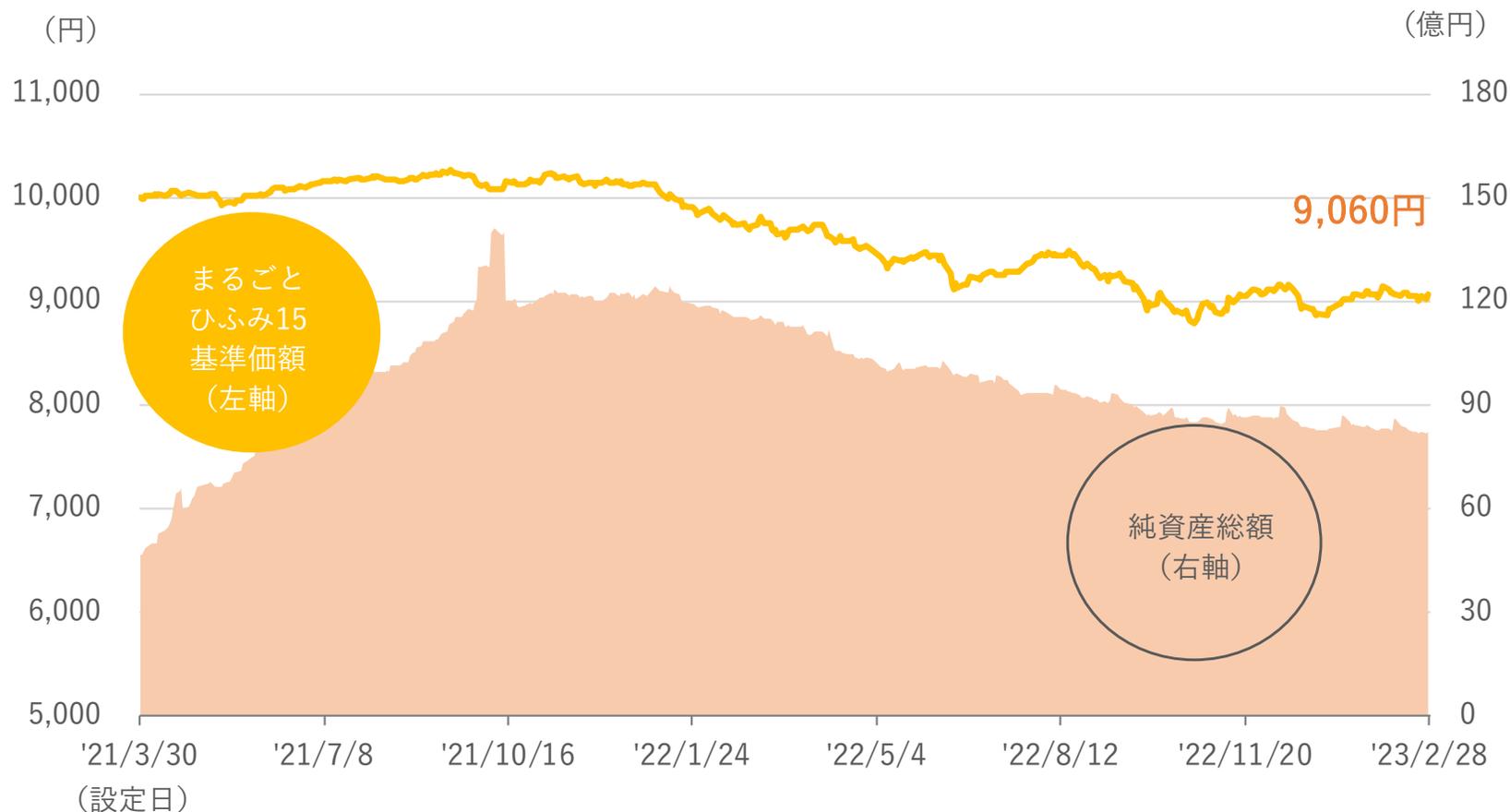
ひふみらいと 基準価額の変動要因

基準価額の変動要因	
基準価額変動額（月次）	+11円
組み入れファンド別変動要因内訳	
ひふみグローバル債券マザーファンド	-8円
ひふみ投信マザーファンド	+7円
ひふみワールドファンド*	+15円
信託報酬・その他	-3円
実質的な資産等項目別の変動要因内訳	
債券	+2円
株式・投資証券	+3円
為替	+9円
信託報酬・その他	-4円

※基準価額の変動要因は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

* ひふみワールドファンドは正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

まるごとひふみ15 基準価額等の推移（日次）



運用成績

	1カ月間	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	設定来
まるごとひふみ15	0.21%	-0.02%	-2.65%	-7.01%	-	-9.40%

期間：2021年3月30日（設定日）～2023年2月末

※運用成績の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

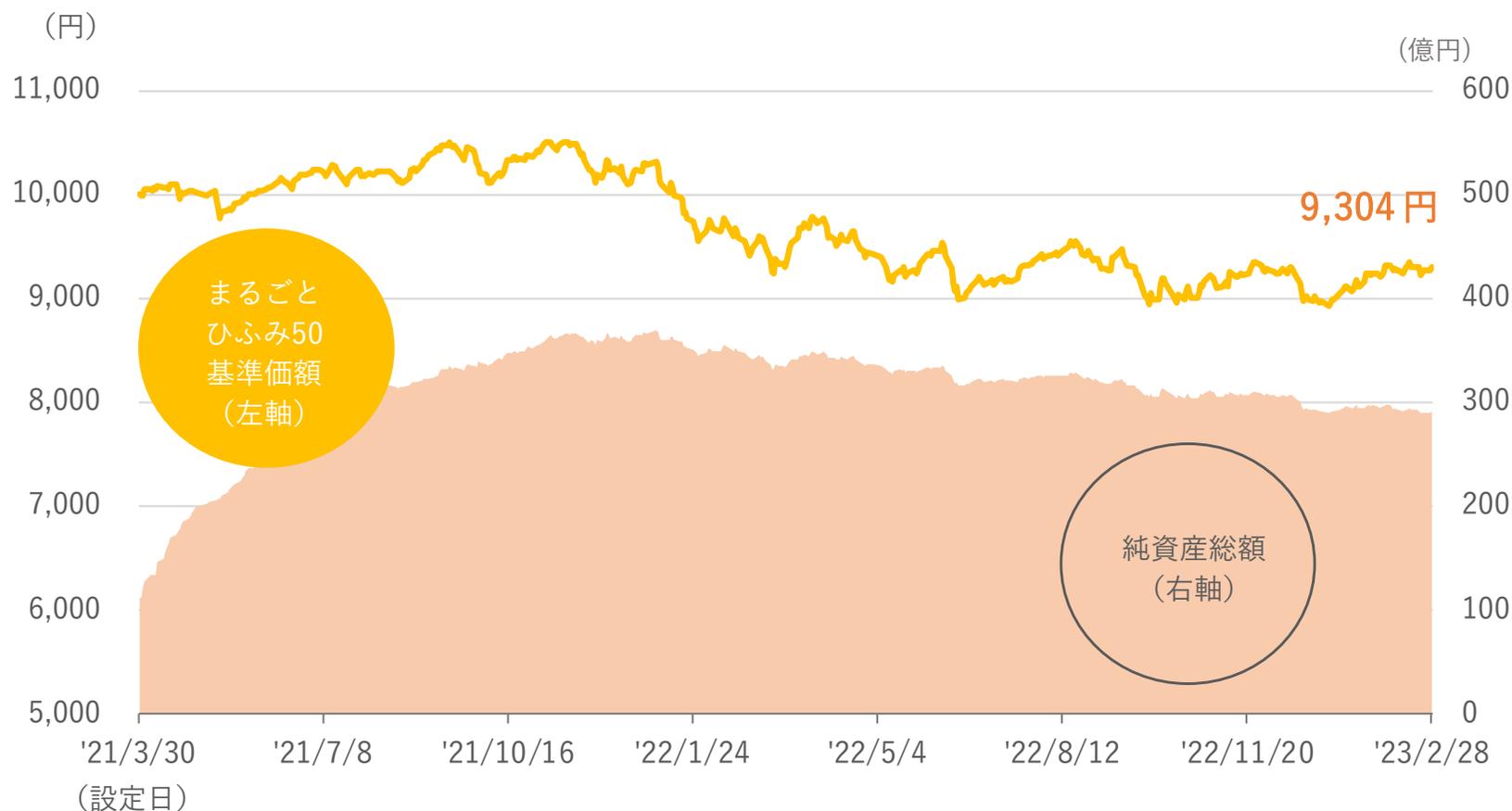
まるごとひふみ15 基準価額の変動要因

基準価額の変動要因	
基準価額変動額（月次）	+19円
組み入れファンド別変動要因内訳	
ひふみグローバル債券マザーファンド	-8円
ひふみ投信マザーファンド	+13円
ひふみワールドファンド*	+19円
信託報酬・その他	-5円
実質的な資産等項目別の変動要因内訳	
債券	+2円
株式・投資証券	+9円
為替	+14円
信託報酬・その他	-6円

※基準価額の変動要因は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

* ひふみワールドファンドは正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

まるごとひふみ50 基準価額等の推移（日次）



運用成績

	1カ月間	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	設定来
まるごとひふみ50	1.03%	0.46%	-0.78%	-2.65%	-	-6.96%

期間：2021年3月30日（設定日）～2023年2月末

※運用成績の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

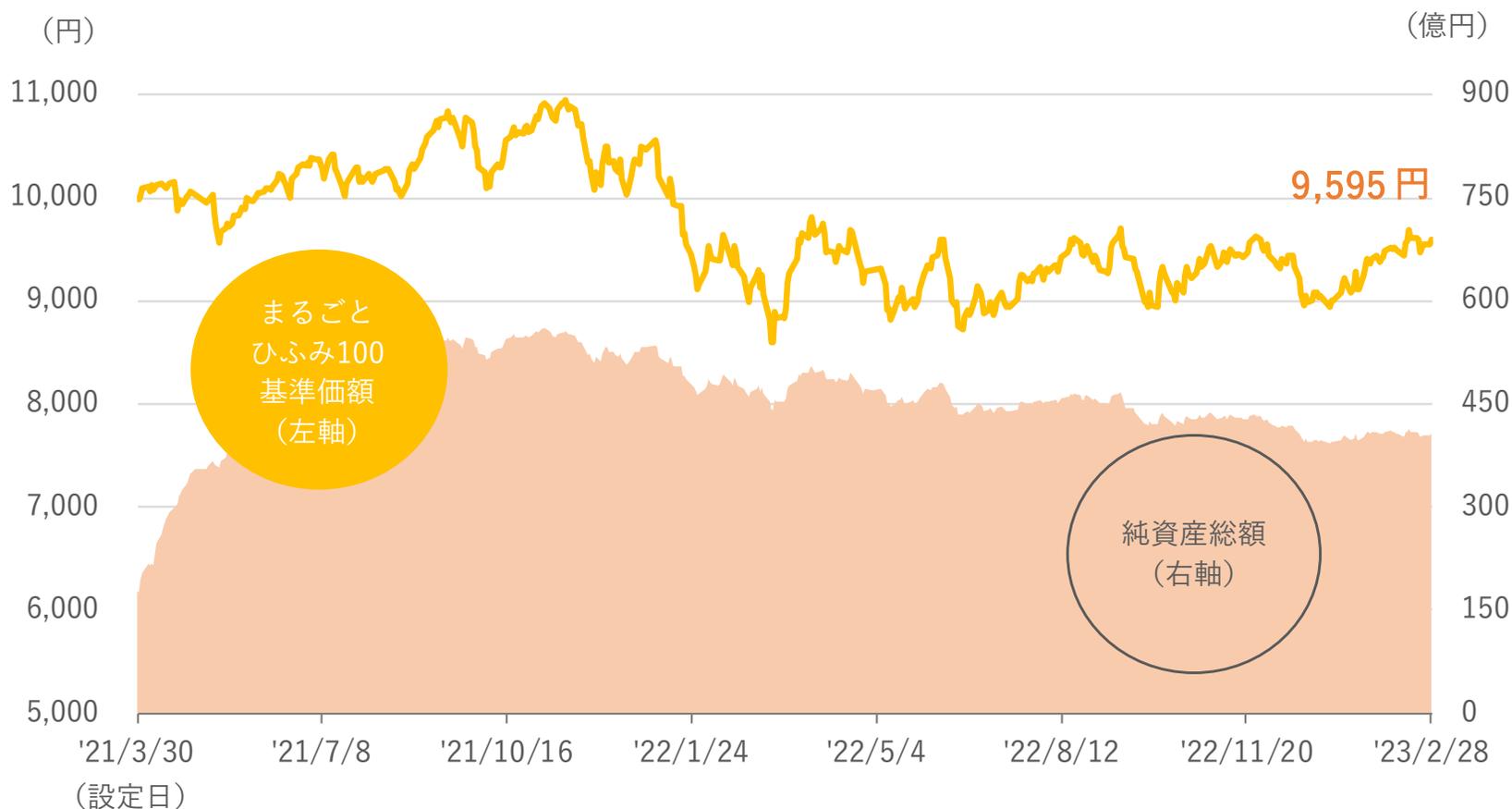
まるごとひふみ50 基準価額の変動要因

基準価額の変動要因	
基準価額変動額（月次）	+95円
組み入れファンド別変動要因内訳	
ひふみグローバル債券マザーファンド	-5円
ひふみ投信マザーファンド	+44円
ひふみワールドファンド*	+63円
信託報酬・その他	-7円
実質的な資産等項目別の変動要因内訳	
債券	+1円
株式・投資証券	+26円
為替	+75円
信託報酬・その他	-7円

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

まるごとひふみ100 基準価額等の推移（日次）



運用成績

	1カ月間	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	設定来
まるごとひふみ100	2.23%	1.13%	1.91%	3.75%	-	-4.05%

期間：2021年3月30日（設定日）～2023年2月末

※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

まるごとひふみ100 基準価額の変動要因

基準価額の変動要因	
基準価額変動額（月次）	+209円
組み入れファンド別変動要因内訳	
ひふみ投信マザーファンド	+89円
ひふみワールドファンド*	+129円
信託報酬・その他	-10円
実質的な資産等項目別の変動要因内訳	
株式・投資証券	+53円
為替	+166円
信託報酬・その他	-9円

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

来月からアカデミーの開始時間が変わります

変更 時間が変わります。

~~20:00～21:00開催~~

19:00～20:15

当社セミナールームから配信

ひふみ公式チャンネル
チャンネル登録よろしくお願ひします！

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 投資信託のお取引は、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動を直接の原因として損失が生じることとなるおそれがあり、基準価額の下落により元本欠損が生じる可能性があります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は、預金等や保険契約とは異なります。
- 当資料は、当社の商品をご理解いただくための情報提供資料としてレオス・キャピタルワークスが作成したものです。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当動画のコメント等は、配信時点での当社の見解を示すものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きや結果を保証するものではありません。ならびに、当社が運用する投資信託への組み入れ等をお約束するものではなく、また、金融商品等の売却・購入等の行為の推奨を目的とするものではありません。

作成：2023年3月

当社が運用する公募投資信託のリスク / 費用

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行えない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク (エマージング市場に 関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

お客様の負担となる費用について

- ◆ お客様に直接ご負担いただく費用
 - ・ **購入時手数料** 上限 **3.30%**（税抜3.00%）※当社が直接販売している投資信託は購入時手数料はありませんが、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。 ※販売会社を通じて購入できる投資信託につきましては、購入時手数料は各販売会社ごとに定める料率となりますので、各販売会社までお問い合わせください。
 - ・ **換金（解約）時手数料・信託財産留保額** ありません。
- ◆ お客様に間接的にご負担いただく費用
 - ・ **信託報酬** 信託財産の純資産総額に対して 上限 **年率1.6280%**（税抜1.4800%）
 - ・ **監査費用** 信託財産の純資産総額に対して **年率0.0055%**（税抜0.005%）以内を乗じて得た額
 - ・ **その他の費用** 組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など。これらの費用については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。
- ◆ **ご注意**
 - ・ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、レオス・キャピタルワークスが運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは各販売会社まで。

当社が直接販売する投資信託の詳細情報の照会先：コミュニケーション・センター 03-6266-0123（受付時間 営業日の9時～17時） <https://hifumi.rheos.jp/>